

ゆとりすと

11
平成25年

議会だより 秀峰

おっちゃん！

おっちゃん！

10月4日、大豊町中学校の3年生が
大杉保育所に遊びに来てくれたよ！

数字にみるわがまち (平成25年9月30日現在)

(人口)合計	4,523人 (-215)
男	2,037人 (-88)
女	2,486人 (-127)
年少[15歳未満]	212人 (-13) 4.69%
老年[65歳以上]	2,417人 (-60) 53.44%
世帯数	2,515世帯 (-71)
()は、前年同月比数	

秀峰

議会だより

第137号

平成25年 9 月定例会

発行日／平成25年10月31日

責任者 議会議長 都築正光

編集 議会広報編集特別委員会

事務局 大豊町高須231

電話 0887-72-0450(代表)

第446回 平成25年 9 月定例会

一般質問

集落環境維持対策は

問 本町の空き家数と賃貸仲介の実績は

答 空き家登録件数の増に加え、タイン者も増加



前野由和 議員

世帯数減少は、空き家対策が迫られていることを意味している。本町への居住希望者に対して、空き家情報発信と賃借仲介に取り組んできた実績は。



岩崎憲郎 町長

専属職員を配置し、空き家調査を積極的に行っている。

一般質問

問 空き家の適正管理対策は

答 基本的に所有者が管理

前野由和議員

長期間管理が放置された空き家は、老朽化による倒壊の危険、治安・景観の悪化、地域の活力低下などの問題を引き起こす恐れがあり、相談や要望が寄せられていると思うが、どのように対応しているのか。

岩崎憲郎町長

所有者が対応するのが基本だと考えている。

一般質問

問 老朽空き家問題に起因する生活環境上の支障に対し行政が関与すべきではないか

答 現時点で空き家対策条例制定は考えていない

前野由和議員

近隣や集落で解決すべき問題であったが、地域力の低下、人間関係の希薄化が問題を深刻化している。町には集落環境維持や景観保護の条例を制定しているが、廃屋に対応する内容にはなっていない。

ない。廃屋対策を視野に入れた条例制定をしている自治体も見受けられる。一定の強制力を持った対応も迫られている時期に来ていると考えるが対応は。

岩崎憲郎町長

条例制定は私有財産に対して行政が関与するものであり、慎重に対応すべき課題である。現時点では制定の考えはない。

一般質問

介護保険改正に対する対応は

問 介護保険改正による影響者数は28人である

前野由和議員

社会保障制度改革国民会議の議論の方向が明らかになってきた。要介護1、2の方を施設介護から除外、要支援1、2の方を介護保険から除外し、市町村が実施する新地域支援事業に移すことが検討されている。嶺北

岩崎憲郎町長

介護被保険者の中で要介護2が1人、要介護1が1人、待機者は26人である。

一般質問

問 介護難民を生むことがないよう対策を

答 関係町村が連携し国に対し声を届ける

前野由和議員

老人ホームを終の棲家として余生を送っている方が、行き場を失うことが予想される。地域支援事業は財源の制約があつて、NPOやボランティアなど善意に依存する内容にもなっている。一定の基準があつて公的に介護を保障する社会保障としての内容からは

大きく後退することになる。心身共に重度化しないための対策が不十分だと、要介護者を増やしてしまうことになる。町内で介護を担っている主たる事業所は社会福祉協議会のみである。介護職員の高齢化や定着しないことも問題化している。

岩崎憲郎町長

町民の立場に立ち関係町村と連携し、県町村会等を通じ国に対して声を届ける。

一般質問

核兵器廃絶を目に見

える形で訴えよ

問 「核兵器のない世界」の実現を目指すための取り組みは

答 加盟している平和首長会議から要請書提出

前野由和議員

8月6日・9日に68回目の原爆の日を迎えた。広島市長の平和宣言は「無差別に市民の命を奪い、人生を一変させる原爆は非人道兵器の極みであり絶対悪だ」と糾弾している。小学生代表は「原爆を生きぬき、命のバトンをつないで命とともにつなぎたいものがあります。だから、あの日から目を背けません。もっと知りたいのです。

被爆の事実を、被爆者の想いを。もっと伝えたいのです。世界の人々に、未来に」と平和の誓いで決意している。本町も平和首長会議に加盟しているが、加入後どういった取り組みをしてきたか。

岩崎憲郎町長

本年度、本町単独ではなく加盟している平和首長会議から、内閣総理大臣に対して要請書を提出している。

一般質問

問 非核の決意を具体的に行動に移すべき

答 モニタリングの設置は考えていない

前野由和議員

本町は非核自治体宣言をし、平和首長会議にも加盟している。私たちは原爆の悲惨さや戦争体験を語りつないでいく責任、歴史的使命がある。本町は子育て支援を手厚く実施している。平和な社会をつないでいくことも、おろそかにしてはいけない課題だと思つ。非核の決意をモニタリング

岩崎憲郎町長

町民は核兵器のない世界の実現を望み、平和を愛し、その考えのもとに行動できると理解しており、新たにモニタリングの設置は考えていない。

一般質問

大豊で生き生き暮らせる対策を

問 暮らし続けることができる支援を課題を整理し積極的に取り組む

前野由和議員

住民の方から「大豊町中心街活性化に対する諸願書」を預かり、目を通して見て身につまされる思いがした。生活していく上で欠くことのできない商店や施設が人口減や購買力の低下により、営業を続けることができない。

本町の広大な面積が移動のための手段を持っていない交通弱者には深刻な影響を及ぼしている。ただこうした中で、時間的な経過によって解消あるいは進展した内容が含まれてはいる。例えば買い物場確保については関係

各位の尽力により紆余曲折を経て、参入する業者が出現したとの朗報が伝えられている。

過去にも当議会において、ガソリンスタンドの地下タンク期限問題が論議された。行政の支援がなければ先行き成り立つ

一般質問

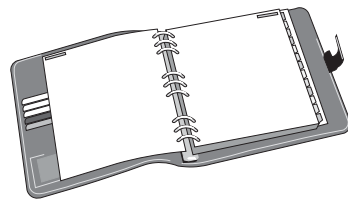
問 行政懇談会の開催の考えはないか
答 元気集落プロジェクト班を中心に地域情報の収集に取り組む

前野由和議員

町道維持などバランス感覚の執行がされているが、一定集中投資をしていかなければ存亡の危機に瀕している。間に合わない状況もあるというところを捉えてほしい。要望があっても声として伝わってこないほど厳しい状況になっていることを察知しなければいけない。こうした住民の声を聞くために集落へ出向き行政懇談会の開催の考えはないか。

岩崎憲郎町長

過去に行政懇談会を開催したが、高齢化等によ



一般質問

森林資源有効活用へ

問 森林を活かした地域活性化策には課題が山積するが、その対応は様々な課題を克服し高知おおとよ製材操業を契機とし精力的に取り組む



重森一宗 議員

先月、地方新聞に「緑をつなぐ転機の森林県」として、近未来・銘建・増産・系統・民間・視線・皆伐・能力・連帯・官民と10回に分けて掲載され



川口南・津家集落見学会（高知おおとよ製材㈱）

一般質問

問 現在の木材価格と市場手数料等は
答 杉3メートル、経級24、28の直・小曲で1万3700円、市場手数料等約2割

重森一宗議員

国が進める「新生産システム」では「川上から川下へ、重点目標として中間コストの削減が言われ、施策としては「森の工場・団地化」が町内の山林において行われてきた。高知おおとよ製材も操業し、数年後にはバイオマス発電所建設も計画されているが、現在の木材価格と市場手数料等は。

岩崎憲郎町長

8月の嶺北木材共販所での1立方当たりの価格は、杉3メートル、経級24、28の直・小曲で1万3700円である。市場手数料は8%、木材協会0.2%、植立料1立方1050円となっており、約2割の市場手数料が必要である。

た。またこれまでにマスコミにおいても課題が報道されたが、この報道をどのように捉え、今後、本町最大資源である森林を活かして地域の活性化を図るのか。

岩崎憲郎町長

様々な課題が報道された。私は一貫して地域の唯一の資源である再生可能な森林を活かすということが、将来にとっていかに大切かということ話をしてきた。本町の民有

林の7割にのぼる人工林、これは多くの山主が大変な苦勞をされて育ててきた財産である。木材価格の低迷等多くの課題のあることは十分承知している。課題はあるが地域の将来をかけた取り組みが必要であるという行政の姿勢が必要である。

高知おおとよ製材操業を契機とし、様々な課題を克服して、精力的に取り組む、所期の目的を達成する。

一般質問

問 オフセット・クレジット認証の実績は
答 町有林22・08ヘクタール、温室効果ガス排出削減・吸収量545トン

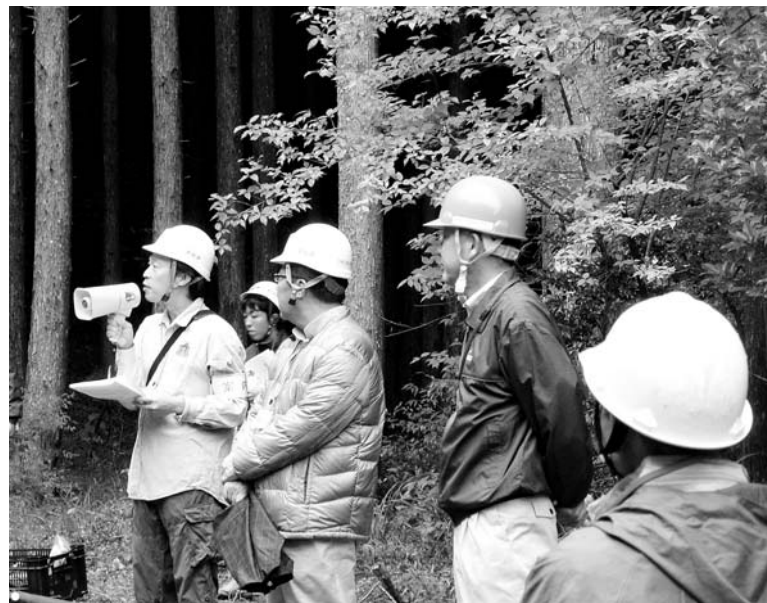
重森一宗議員

カーボン・オフセット（自らの排出量を他の場所の削減量（クレジット等）で埋め合わせて相殺すること）の仕組みを活用して、国内における二酸化炭素等の排出削減・吸収を一層推進するた

め、国内で実施されるプロジェクトによる削減・吸収量オフセット用クレジットとして認証する制度を本町でも取り組んでいるが、その実績は。

岩崎憲郎町長

現在までに佐賀山と梶



協働の森間伐体験（中村大王町有林）

一般質問

地域おこし協力隊で地域の新たな担い手へ

問 地域おこし協力隊員を多く採用すべき
答 現在募集中



渡辺則夫 議員

現在まで、地域おこし協力隊員の募集採用はどのように行われ、採用後の活動はどのように行われてきたのか。嶺北地域等で行われる協力隊員のためになる会合等には出席させ、活躍の場は十分に与えられているのか。この制度は全国の市町村で行われており人件費は

り組んできた。平成24年度に185人分の約6トンを無効化、一方、1企業に10トン6万円で購入した。今後最大の資源である森林の環境財、経済財両面からの取り組みをさらに進める。

すべて国費（特別交付税措置）である。応募者は市町村を選ぶことができ、応募者に選ばれるような町の姿勢を示し、まちづくりに関わる多くの協力隊員を採用すべきではないか。

岩崎憲郎町長

この制度は平成23年度から導入、募集の結果11人から申し込みがあり3人採用後、1人退職したため、現在は2人である。その後、現在までに5回ほど募集をしたが、

一般質問

問 西峰地区に集落活動センターを設置する方針ではなかったのか
答 地域コミュニティの「拠り所」をつくる

渡辺則夫議員

町長は兼ねてから「西峰地区を守ることが、強いては大豊を守る」ことだと言ってきた。今、高知県では集会所等を拠点に、地域外の人材等を活用しながら、近隣の集落との連携を図り、生活、産業、防災などの活動について、それぞれの地域の課題やニーズに応じて総合的に地域ぐるみで取り組む「集落活動センター」を設置し、集落存続を考え推進している。本町も西峰地区に集落活動センターを設置する方針ではなかったのか、また、そうでないとする

限界集落の存続を

る都市住民（若者等）を地域の新たな担い手、地域のコミュニティの一員として活躍をしていただくため募集中である。

ば、それはどのようなものなのか、町長の言う集落活動センターありきではない集落を守り存続する方法を示せ。

岩崎憲郎町長

西峰地区では、人口減少、高齢化がさらに進展、活力が衰退しており、将来を見据えた仕組みづくりが不可欠であり協議をしてきた。集落活動センター設置ありきではなく、地域のコミュニティをしっかりと、次の世代に受け継ぐため、地域ぐるみで地域コミュニティの「拠り所」をつくる。

一般質問

民泊の実現により地域活性化を

問 平成27年度に農家民泊はスタートできるか

答 精力的に取り組み実現する

渡辺剛夫議員

平成27年度民泊事業をスタートさせるべく準備を進めており、精力的に

推進する必要がある。一例を挙げれば対象家庭のトイレの問題はないのか、あるとすれば早急に



嶺北地域民泊研修会（せせらぎ庵）

取り組まなければならないのではないかと。山村の新しい可能性を開く取り組みで期待をしているが、平成27年度からスタートできるか。

岩崎憲郎町長

平成27年度を目標に、修学旅行を誘致するため農山漁村生活体験ホームステイ事業の推進に取り組んでいる。80人が宿泊するためには、30軒が必要であるため、現在受け入れ対象農家等の掘り起こしなど積極的に行っており必ず実現する。



◎議会からのお知らせ

都築正光議長、県町村議長会等の副会長・副議長に選出

都築正光議長は、高知県町村議長会臨時総会が6月28日に開催され副会長に、高知県市町村総合事務組合定期総会が8月20日に開催され副議長に選出されました。

大変業務の中、今まで以上に健康に留意され、本町をはじめ高知県町村議長会、高知県市町村総合事務組合のさらなる発展のため、活躍を期待いたします。

議会報告会の開催

日頃は、大豊町議会の運営につきましてご助言、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

平成23年3月6日に大豊町議会基本条例が施行され、議会は自らの創意工夫によって町づくりを行うため、公正性、透明性等、町民に開かれた議会や町民参加を推進する議会を目指して活動を行っております。

本年度も町政全般にわたり、町民と議員が自由に情報や意見を交換する場として、次のとおり議会報告会を開催いたします。大変ご多忙のところ、恐縮に存じますが、皆さんのご参加をお願いします。

なお、本年度は一力所での開催となっておりますが、各地区での開催のご希望がある場合は、議会事務局まで連絡してください。

1 日時及び場所

平成25年11月24日(日) 13時30分～15時30分

大豊町総合ふれあいセンター

2 議会報告会の内容

(1) 主な議会報告

① 議会の活動状況(主な議案の審議の経過)

② 本年度予算の主な事業

③ 町政の重要課題

(2) 議会報告に対する質疑

(3) 意見交換会



天坪地区複合集会所



県政に対して意見を述べる都築議長

第446回(平成25年9月)定例会

9月5日開会、9月13日までの9日間の会期、町長提出の平成25年度一般会計・特別会計補正予算をはじめ、条例など10件を可決、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員選任同意、意見書3件可決し、継続審査・調査付託を決定の上、閉会した。

平成25年度補正予算(賛成・全員)

会 計	補正額	補正後の額
一 般 会 計 (第2回)	1億2,279万9千円	42億6,407万1千円
一 般 会 計 (第3回)	1,200万円	42億7,607万1千円
国民健康保険特別会計 (第1回)	126万円	7億7,680万3千円
介護保険特別会計 (第2回)	97万6千円	6億8,855万4千円
簡易水道事業特別会計 (第1回)	400万円	1億3,389万8千円

一般会計補正予算(第2回)

主な使いみち(歳出)

臨時職員賃金等213万7千円、消防団安全装備品購入費239万4千円、町道用の生コンクリート原材料費280万円、町史編纂業務委託料160万円、嶺北畜産家畜システム整備事業費補助金169万円、生き生き起業等支援事業費補助金100万円、シカ被害特別対策事業費補助金176万4千円、鳥獣被害緊急対策事業費補助金100万円、地域林業総合支援事業費補助金167万円、高性能林業機械等整備事業費補助金2,500万円、木材加工流通施設等整備事業費補助金1,365万円、自然災害防止工事費328万3千円、レンタルハウス整備事業費補助金282万8千円、林道維持修繕工事費300万円、町道維持修繕工事費2,000万円、生活道開設補助金200万円、がけくずれ住家防災対策工事費810万円、町道改良工事費1,500万円等を計上。

一般会計補正予算(第3回)

主な使いみち(歳出)

がけくずれ住家防災対策工事費1,200万円を計上。

○全国森林環境税創設促進議員連盟第20回定期総会開催

7月11日福島県南会津町において、第20回定期総会が開催され、本議員連盟副会長である今井安博議員が出席した。

本議員連盟は平成6年に設立され、現在全国32市町村議会の加盟により、活動を行っている。本議員連盟は、森林の公益的機能を持続的に発揮させるための森林・林業・山村対策の抜本的な強化を図るため、二酸化炭素排出源を課税対象とする新たな税財源として「全国森林環境税」を創設し、国民的支援の仕組みづくりを求めている。

「石油石炭税の税率の特例措置」においては、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を市町村が推進するために必要な地方財源を確保するため、その税収の一定割合を森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を導入する税財源制度を創設するよう、新税の早期実現を目指すため、政府をはじめ国会議員に対して要望活動等を精力的に行っている。



挨拶をする今井副会長

一般質問

民泊の実現により地域活性化を

問 平成27年度に農家民泊はスタートできるか

答 精力的に取り組み実現する

渡辺剛夫議員

平成27年度民泊事業をスタートさせるべく準備を進めており、精力的に

推進する必要がある。一例を挙げれば対象家庭のトイレの問題はないのか、あるとすれば早急に



嶺北地域民泊研修会（せせらぎ庵）

取り組まなければならないのではないかと。山村の新しい可能性を開く取り組みで期待をしているが、平成27年度からスタートできるか。

岩崎憲郎町長

平成27年度を目標に、修学旅行を誘致するため農山漁村生活体験ホームステイ事業の推進に取り組んでいる。80人が宿泊するためには、30軒が必要であるため、現在受け入れ対象農家等の掘り起こしなど積極的に行っており必ず実現する。



◎議会からのお知らせ

都築正光議長、県町村議長会等の副会長・副議長に選出

都築正光議長は、高知県町村議長会臨時総会が6月28日に開催され副会長に、高知県市町村総合事務組合定期総会が8月20日に開催され副議長に選出されました。

大変業務の中、今まで以上に健康に留意され、本町をはじめ高知県町村議長会、高知県市町村総合事務組合のさらなる発展のため、活躍を期待いたします。

議会報告会の開催

日頃は、大豊町議会の運営につきましてご助言、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

平成23年3月6日に大豊町議会基本条例が施行され、議会は自らの創意工夫によって町づくりを行うため、公正性、透明性等、町民に開かれた議会や町民参加を推進する議会を目指して活動を行っております。

本年度も町政全般にわたり、町民と議員が自由に情報や意見を交換する場として、次のとおり議会報告会を開催いたします。大変ご多忙のところ、恐縮に存じますが、皆さんのご参加をお願いします。

なお、本年度は一力所での開催となっておりますが、各地区での開催のご希望がある場合は、議会事務局まで連絡してください。

1 日時及び場所

平成25年11月24日(日) 13時30分～15時30分

大豊町総合ふれあいセンター

2 議会報告会の内容

(1) 主な議会報告

① 議会の活動状況(主な議案の審議の経過)

② 本年度予算の主な事業

③ 町政の重要課題

(2) 議会報告に対する質疑

(3) 意見交換会



天坪地区複合集会所



県政に対して意見を述べる都築議長

第446回(平成25年9月)定例会

9月5日開会、9月13日までの9日間の会期、町長提出の平成25年度一般会計・特別会計補正予算をはじめ、条例など10件を可決、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員選任同意、意見書3件可決し、継続審査・調査付託を決定の上、閉会した。

平成25年度補正予算(賛成・全員)

会 計	補正額	補正後の額
一 般 会 計 (第2回)	1億2,279万9千円	42億6,407万1千円
一 般 会 計 (第3回)	1,200万円	42億7,607万1千円
国民健康保険特別会計 (第1回)	126万円	7億7,680万3千円
介護保険特別会計 (第2回)	97万6千円	6億8,855万4千円
簡易水道事業特別会計 (第1回)	400万円	1億3,389万8千円

一般会計補正予算(第2回)

主な使いみち(歳出)

臨時職員賃金等213万7千円、消防団安全装備品購入費239万4千円、町道用の生コンクリート原材料費280万円、町史編纂業務委託料160万円、嶺北畜産家畜システム整備事業費補助金169万円、生き生き起業等支援事業費補助金100万円、シカ被害特別対策事業費補助金176万4千円、鳥獣被害緊急対策事業費補助金100万円、地域林業総合支援事業費補助金167万円、高性能林業機械等整備事業費補助金2,500万円、木材加工流通施設等整備事業費補助金1,365万円、自然災害防止工事費328万3千円、レンタルハウス整備事業費補助金282万8千円、林道維持修繕工事費300万円、町道維持修繕工事費2,000万円、生活道開設補助金200万円、がけくずれ住家防災対策工事費810万円、町道改良工事費1,500万円等を計上。

一般会計補正予算(第3回)

主な使いみち(歳出)

がけくずれ住家防災対策工事費1,200万円を計上。

○全国森林環境税創設促進議員連盟第20回定期総会開催

7月11日福島県南会津町において、第20回定期総会が開催され、本議員連盟副会長である今井安博議員が出席した。

本議員連盟は平成6年に設立され、現在全国32市町村議会の加盟により、活動を行っている。本議員連盟は、森林の公益的機能を持続的に発揮させるための森林・林業・山村対策の抜本的な強化を図るため、二酸化炭素排出源を課税対象とする新たな税財源として「全国森林環境税」を創設し、国民的支援の仕組みづくりを求めている。

「石油石炭税の税率の特例措置」においては、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を市町村が推進するために必要な地方財源を確保するため、その税収の一定割合を森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を導入する税財源制度を創設するよう、新税の早期実現を目指すため、政府をはじめ国会議員に対して要望活動等を精力的に行っている。



挨拶をする今井副会長

主な条例一部改正等

大豊町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

（賛成 小川智也議員、西村正尚議員・反対8）
町外に賃貸住宅を借り受けている職員の住居手当は、平成26年度3分の2、平成27年度3分の1支給し、平成28年度からは支給しない。

町外から通勤する職員の通勤手当は、町内経路に加え、町内経路を越える区間は、平成26年度3分の2、平成27年度3分の1支給し、平成28年度からは支給しない。

委員長報告に対する質疑



今井安博 議員

総務産業建設常任委員会、大豊町一般職員の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例は、否決とする報告であったが、審査の経過と結果は。

佐藤徳治
総務産業建設常任委員長

様々な角度から賛否について活発な意見が出、議論を行った。町職員は基本的に町内に住み、過疎になった地域を支えるべきであるが、結婚等それぞれ諸事情があり転出している。本案を一律に適用するのはどうか。

今、町外在住者に手当を削減したとしても、さほど本町に転入する結果につながると思えない。それよりも町長と職員が綿密な話し合いを行い総合認識を深める中で、町内居住という思いを一つにしてい

く取り組みが重要である。

この改正によって、職員の仕事に対する意欲減退が懸念されるなどの反対意見が出た。

一方、町外在住職員には諸事情があっても、地方公務員は何か給与の原資なのかよく考え、人口減少の激しい今日、住民の関心度の高さも考慮し、可能な限り町内に居住すべきであり、本案に同意すべきであるとの意見も出た。

以上のような様々な意見が出、自由闊達な議論をした後、慎重審査を行った結果、本案は賛成少数（1人）で否決された。

討論

賛成討論



三谷幸一郎 議員

今まで職員が町外から通勤している問題点を再三再四にわたり質問してきたが、一向に減少せず逆に増加している。

職員は大災害発生時には、国道等が寸断され出勤できなくなることが懸念される。有事の際は即刻出勤し、町民の生命財産を守ることが使命である。

加えて、過疎化が進展し集落の存続が危ぶまれるため、移住により地域の活性化を図るべく空き家対策も講じている。町民の声や感情を鑑み賛成する。

反対討論

前野由和議員

条例を提案する前に、まず職員との協議がなされていない。単独協定でも当然働く人と雇用のルールが確立されなければいけない。直接に不利益を被る職員との話し合いあるいは労働組合がなければ職

果たすにはどうすればいいのか、十分熟慮して判断すべき問題であり反対する。

賛成討論



小川智也 議員

長年にわたり町外から通勤している職員の問題について議論されてきたにもかかわらず、解決に至っていないのが現状である。通勤手当は町内分

は保証、2年間の猶予期間、全職員に対し回覧メールで周知、まさに解決に向かう第一歩である。我々議員は選挙で選ばれ、町民の代表であり町外在住職員の代表ではない。職員は住民サービスが責務であり、我々議員は住民中心とした判断をするべきで、否決することは住民に対しての説明ができないため賛成する。

反対討論

重森一宗議員

賛成者の討論に同感する部分もあるが、条例制定、改正の基本は日本国憲法である。憲法では国民は平等であり、居住は自由である。町外在住者に対する住居手当カット、通勤手当は町外区間カットというのは、法に抵触しないかを官公庁にも問い合わせをしたが明確な答えもなく、加えて裁判実例もないことから、議論する余地があり時期尚早と判断し反対する。

大豊町特別職の職員の給与に関する条例の特例に関する条例の専決処分承認

（賛成・全員）
職員の処分を受け、7月分の給料、町長7%、副

町長3%の減額措置を行った。

大豊町窓口センターの設置に関する条例の一部を改正する条例

（賛成8・反対 小川智也議員、三谷幸一郎議員）

窓口センターの取扱時間は、毎週火曜日（火曜日が休日の場合は翌日）と12月27日から1月1日までの期間を除く、毎日午前8時30分から午後5時15分までとする。



窓口センター

反対討論

三谷幸一郎議員

取扱時間を10月1日から、午後9時を午後5時15分に変更することは、住民からサービスの低下を招くという声があるので反対する。

賛成討論

渡辺則夫議員

午後5時15分から午後9時までの利用者数は、1カ月当たり2人と極めて少なく、費用対効果を考える住民からも理解が得られるものと考え賛成する。

町道の路線廃止

（賛成・全員）
町道川口南工業団地2号線を企業道路として利便性を高めるため廃止。

員の過半数の代表者と協議をする必要がある。

限界集落の中で、集落に職員が一人でもいれば独居老人の見守りなど、住民からの期待も大きいことは承知しているが、町外へ嫁ぐなど様々な諸事情もあり、これを無視したかたちで一律に杓子定規に定めるのは問題である。改正により、町内在住職員と町外在住職員の間にくさびを打ち込む結果にならないかという危惧もしている。それぞれの諸条件を考慮せず一律にペナルティーを掛けるような措置は良策ではなく反対する。

賛成討論

今井安博議員

条例案を否決することは、現状維持を容認することになる。過疎化が進み限界集落から消滅集落となることに危惧している。町長は「ふるさと大豊に暮らし、住民と同じ目線で地域を見、ともに行動する職員」と常に言われており、私も同感である。職員は町内で生活することが基本であり、モラルの欠如と言っても過言ではない。町民の感情として、町職員として働きなから税金も納入しないという声が絶えず聞こえてくる。町民の感情を考えたとき、この提案は当たり前のことであり賛成する。

反対討論

渡辺則夫議員

町に奉職する職員は町内に住むというモラルについては、賛成討論者と同感である。このモラルはその人の心の持ちよう、精神状態をいうわけで、町長は提案する前に職員と話し合いをするべきである。この条例を強行するとモラルハザードを引き起こしかねないと思慮する。かえってデメリットが大きくなり、職員の様々な諸事情を聞き、可能な人には本町で生活をしてもらうことが最良と考える。目的を

主な質疑

○一般会計

第2回補正予算

前野由和議員

6月議会定例会で、通院タクシー制度の見直しを議論し、検討するという答弁であったが、その結果は。

腔外科も対象にするよう事務を進めている。

渡辺則夫議員

大豊町総合ふれあいセンターの見直しの進捗状況は。

岩崎憲郎町長

住民の声を聞き、理解を得て見直す必要があるため説明資料を作成中である。

今井安博議員

集落からシカネットを張りたいという要望はあるのか。シカ・イノシシの被害が依然として続出

今井達也
住民課長

10月1日から歯科・口



防護ネットを視察する県尾崎知事（東庵谷）

しており、耕作放棄を余儀なくされている多くの農家がある。今後とも電気柵に対する助成は継続するか。



宮内伸彦
産業建設課長

3地区から要望が出ている。

岩崎憲郎町長

できる限りの対策を講じる。

前野由和議員

本年4月からの有害鳥獣駆除の実績は。

宮内伸彦産業建設課長

9月5日現在、シ力62頭、イノシシ262頭、サル19頭、タヌキ162頭、野ウサギ44羽、鳩46羽などである。

重森一宗議員

過去において消防団員の報酬の見直しの質問に対し、検討するという答弁であったが、結論は出ているのか。



都築純一
総務課長

現在、大豊町、本山町、土佐町の消防担当者で検討しており、報酬額は3町一律にするのか、町単独にするかを本年12月までに結論を出す。

小川智也議員

8月に実施した中学校3年生のオーストラリアへの海外研修参加者数と期間。



吉松英喜
教育長

ソフトボール部の四国大会の予選やその他の事情等があったため、参加者は8人で10日間実施した。

小川智也議員

「おおとよ小学校」の校歌・校章を募集しているが応募状況は。

吉松英喜教育長

現在のところ校歌・校章とも3件の応募がきている。

○簡易水道事業特別会計
第1回補正予算



西村正尚 議員

高圧線移設補償費400万円の具体的な内容は。

宮内伸彦産業建設課長

国道439号栗生トンネル手前上空にワイヤーを張っており、地域から危険であることから撤去の要望があった。このたび撤去工事を施工することになった。このワイヤーの下に高圧線があることから、一度高圧線を移設するための予算措置である。

人事

教育委員会委員任命同意

(賛成・全員)

大豊町川口87番地

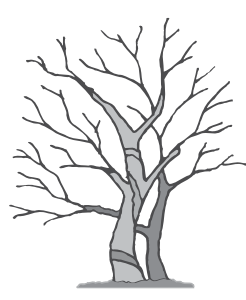
猪野 幸博

行政報告

岩崎憲郎町長

○台風17号による被害状況等

永瀬集落で民家の裏山が崩壊し、復旧に向けて工法を検討中。林道大杉大田口線の西庵谷地内で崩土があり、通行止めとなっている。町道では、八川大西線、東土居高柿線で崩土があったが、通行可能。避難状況は岩原地区で1世帯2人、大田口地区3世帯3人の方が避難をした。



意見書

「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書 (賛成者・全員)

総務産業建設常任委員長

佐藤 徳治

地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は、わが国のみならず地球規模の重要な課題となっており、森林のもつ地球温暖化の防止や国土の保全、水資源のかん養、自然環境の保持など「森林の公益的機能」に対する国民の関心と期待は大きくなっている。

また、わが国は、平成25年度以降においても、京都議定書目標達成計画に掲げられたもの(第1約束期間における温室効果ガス排出削減義務6%のうち、3・8%を森林吸収量で確保)と同等以上の取り組みを推進することとしている。

このような経緯も踏まえ、「地球温暖化対策のための石油石炭税の税率の特例措置」が平成24年10月に導入されたが、使途は、二酸化炭素排出抑制対策に限定されており、森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保については、「早急に総合的な検討を行う」との方針にとどまっている。

もとより、地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全等の森林吸収源対策や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネルギーの活用な

どの取り組みを、山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠である。

よって、自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化を図ることに加え、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求め、内閣総理大臣等に対し意見書を提出するものである。

道州制導入に断固反対する意見書

(賛成者・全員)

総務産業建設常任委員長

佐藤 徳治

我々町村議会は、平成20年以来、町村議会議長全国大会において、その総意により、「住民自治の推進に逆行する道州制は行わないこと」を決定し、本年4月15日には、全国町村議会議長会が「町村や国民に対して丁寧な説明や真摯な議論もないまま、道州制の導入が決定したかのごとき法案が提出されようとしていることは誠に遺憾である」とする緊急声明を行った。さらに、7月18日には、「道州制は絶対に導入しないこと」とする要望を決定し、政府・国会に対し、要請してきたところである。

しかしながら、与党においては、道州制導入を目指す法案の国会への提出の動

きが依然としてみられ、また、野党の一部においては、既に「道州制への移行のための改革基本法案」を第183回国会へ提出し、衆議院内閣委員会において閉会中審査となっているなど、我々の要請を無視するかの動きをみせている。

これらの法案は、道州制導入後の国の具体的な形を示さないまま、期限を区切った導入ありきの内容となっており、事務権限の受け皿という名目のもと、ほとんどの町村においては、事実上の合併を余儀なくされるおそれが高いうえ、道州はもとより再編された「基礎自治体」は、現在の市町村や都道府県に比べ、住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。

町村は、これまで国民の生活を支えるため、食料供給、水源かん養、国土保全に努め、伝統・文化を守り、自然を活かした地場産業を創出し、住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。それにもかかわらず、効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではない。多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが、ひいては、全体としての国力の増強につながるものであると確信している。

よって、我々大豊町議会は、道州制の導入に断固反対するため、内閣総理大臣等に対し意見書を提出するものである。

平成26年4月からの消費税率引き上げを中止することを求める意見書 (賛成者・全員)

総務産業建設常任委員長

佐藤 徳治

平成26年4月から8%、平成27年10月から10%という消費税率引き上げの計画が進んでいる。

しかし、現下の経済情勢は、株価の上昇や円安により一部高額所得者や輸出大企業には利益をもたらしているが、多くの国民にとっては、物価高、原材料費の高騰などでますます生活が圧迫される状態となっている。さらに年金受給額が減り、医療や介護の負担が増大している。このもとの消費税増税は、個人消費をますます冷え込ませ、デフレ不況克服という課題を遅らせることになりかねない。

また、高知県は「産業振興計画」の実施により経済活性化への必死の努力が続けられている。中小零細企業、低所得者層が全国的にも多い高知県経済にとって消費税増税は決して効果があるものとはならず「産業振興計画」の遂行を妨げるものにもなりかねない。

よって、消費税法附則18条3項では、経済状況によっては「施行の停止を含め所要の措置を講ずる」と増税中止を選択することも可能と明記されており、法の解釈通り「施行の停止」を実施することを求め、内閣総理大臣等に対し意見書を提出するものである。

委員会の動き

○総務産業建設常任委員会

総務産業建設常任委員会調査報告書

総務産業建設常任委員長 佐藤 徳治

平成25年8月19日に 風力発電を活用したまちづくりに取り組んでいる津野町の「葉山風力発電所」を調査した。



葉山風力発電所（津野町）

事業者である株式会社葉山風力発電所の用地は、当時行政が民有林25ヘクタールを買収、うち2.5ヘクタールを事業者に賃貸、平成16年3月から平成18年3月にかけて総事業費約40億を投資して、発電タワー1,000キロワット、20基を建設している。

年間発電量は、4,800万キロワット時（一般家庭約13,000世帯分に相当）を見込み、平成18年3月22日から操業を開始している。

行政のメリットとしては、償却資産の税収当初3,000万円、法人税収41万円、建設事業の量的確保、観光・交流事業への波及効果、雇用拡大（社員4人のうち地元3人）、その他アプローチ道路維持管理費100万円が町に支払われており、これを原資として家庭にソーラーを設置する場合は、町

単独で20万円の補助金が交付されるなど風力発電誘致によるまちづくりの所期の目的は達成されていた。

一方デメリットは、乱気流等の影響で一定の風力がなく、当初計画していたより稼働率が低く収益が少ないようであった。

本町でも現在計画されている「大豊風力発電事業」は、環境影響評価法に基づき環境の現状を調査し、操業開始平成30年を見込んでいるが、今回の調査ではメリットが大きく、風力発電を活用したまちづくりは期待できるものと思慮され、早期具現化を期待する。

住民の声

ーターンとして新規就農



総務産業建設常任委員会視察（ラッキー農園）

議会で毎回、空き家や新規就農者対策が議論されています。私たちが就農地を大豊に決めたとき、農業を営むには適地ではないと反対されました。しかし、夏秋に高品質で安全安心な食味（太陽の匂いと果物のような甘さに溢れる）の良いトマトが栽培できるという恵まれた気象条件は、他の地域にはない魅力があります。トマト栽培農家が連携し、大豊町をトマトの大産地にしたいと頑張っております。

記 大豊町佐賀山 ラッキー農園

酒井 寿緒
酒井 笑子

編集後記

四万十市江川崎で、気象庁観測史上日本一となる気温41度を記録した。猛暑日という表現も日常化した夏であった。また突風や竜巻が各地で発生し、地球変動そのものに要因があるのではと気付かされた異常の頻繁化でもあった。

大量に生産し消費することが豊かさの象徴であるかのような錯覚に陥った半世紀でもあり、福島県原発事故処理における相次ぐトラブルは自然に対して、人間の力はあまりにも微弱であることを証明している。振り返ってみたときに、大切なことを見落としていたことに気付いた日々であった。環境やエネルギー問題を疎かにしては身の回りの生活インフラも、さらに、生命すら守り切ることができないことに否応なく到達することになった。

高知おおよ製材工場の操業が開始された。山における人の営みによって植生が変わった。山の形状を整備し、管理する役割が自然を構成している一員として人にかかっている。経済循環だけでなく地球温暖化の原因である二酸化炭素吸収源として、森林成長率を高めるための整備を進めることが要求されている。

9月議会定例会は活発な議論が展開された。新聞でも注目する案件があり、住民の方も関心を持ち、大いに議論に参加をしていただき、各議員が意見を述べ正面から議論した活発な会期であった。

記 前野 由和

広報編集特別委員会

委員長 三谷幸一郎
副委員長 小川 智也
委員 前野 由和
委員 佐藤 徳治
委員 都築 正光

【ご意見やご感想は】 大豊町議会事務局

電話 72-0450（代表）まで

委員会の動き

○教育民生常任委員会

教育民生常任委員会調査報告書

教育民生常任委員長 西村 正尚

平成25年8月21日に田野小学校校舎新築の調査を行った。



田野小学校校舎（田野町）

校舎は鉄筋コンクリート造りで、校舎の1階にはプール、2階には体育館が整備されているのが大きな特徴であった。加えて廊下は広く校舎内は木材を活用した温かみのある構造であり、県内有数の教育環境に優れた校舎であるといえる。一方、屋上は津波時の際、住民の避難場所としての機能を有しており、設計に至るまで徹底的に議論を行うプロセスに感銘を受けた。

本町では平成26年4月1日から、小学校を再編成統合し、1校となり「おおとよ小学校」が開校される。将来新校舎建設の構想があって、公共施設の円滑な整備を図るため、大豊町公共施設整備基金を設置し、財源の確保を図っているが、今後、計画が具体化すれば、配置や構造など徹底した議論をし、教育環境に優れた新校舎建設を望む。

校舎新築に当たっては、数年にかけ執行部、保護者及び議会で議論され、委託料5,027万9,250円（旧校舎解体含む）総工事費11億7,423万6千円（旧校舎・体育館解体工事含む）総額12億2,451万5,250円（国庫支出金4億5,002万5千円（36.8%）、県支出金8,409万3千円（6.8%）、町債4億8,700万円（39.8%）、一般財源2億339万7,250円（16.6%）をもって建設している。

建設に当たっては、平成21年度に新校舎建設設計委託、平成23年度工事着工、平成24年度工事竣工、平成25年4月1日から新校舎で授業を開始している。



40歳から74歳の国保加入者の皆さんへ

特定健診が受診できるのはあと1カ月！

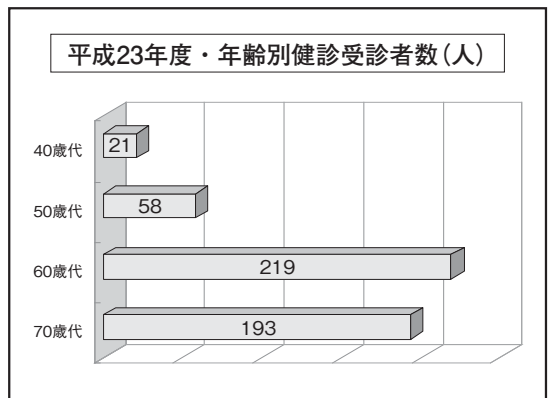
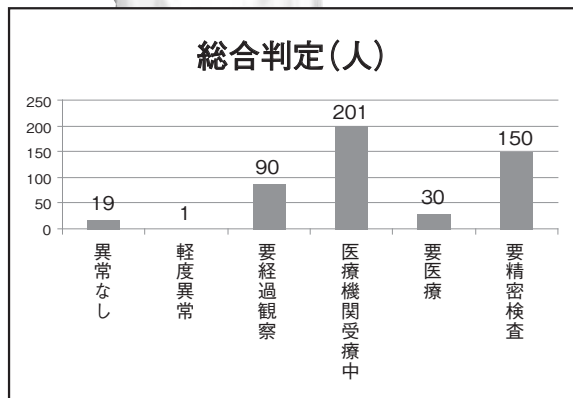
特定健診が始まって5年がたち、大豊町の受診率は少しずつ上がっています。

しかし、毎年受診する方は少なく、継続的な受診がまだ定着していません。

また、年齢別受診者数を見ると、40歳代、50歳代の受診率が極端に低く、全受診者の16%にしか達していません。働き盛りの今だからこそ、年に1回は健康診断を受けてご自身の体調と向き合ってください！

特定健診受診対象者には、6月下旬に受診票を郵送しています。

まだ受診していない方は、ぜひ11月中に特定健診を受けて健康状態の確認をお勧めします。



※70歳代は、70歳から74歳までの受診者です

「受診する」と「受診しない」ではこんなに違う！

受診すると・・・

- 今の健康状態を知ることができる
- 必要に応じて指導が受けられる
- 生活習慣病の予防につながる



受診して良かったちや！

受診しないと・・・

- 生活習慣病が進んでいても気付かず、重症になっている可能性も・・・
- 受診率が低いと、ペナルティーが課され国保税が増になる可能性も・・・



それはおおごと！受診せんといかん！

全国でも、医療費にかかる金額が大きい大豊町の国保増やすか 減らすかは、皆さんの健康への意識にかかっています！



まだがん検診を受けていない皆さんへ

住所地以外の会場でがん検診が受けられます！



今年度のがん検診を受診していない方を対象に、がん検診を実施します。

今回の検診は、住所地以外の会場でも受診ができますので、お勤め先に近い会場など、ご都合に合わせて受診会場を決めてお申し込みください。

事前の申し込みが必要ですのでご注意ください。

対象となる方

次の年齢の方のうち、今年度がん検診を受診していない方

- 肺がん検診
- 胃がん検診
- 大腸がん検診
- 乳がん検診・・・40歳以上女性
- 子宮頸がん検診・・・20歳以上女性

自己負担額

無料
※乳がん検診および子宮頸がん検診については、自己負担が必要な場合があります。

実施年月日	実施場所	肺	胃	大腸	乳	子宮頸
平成26年2月19日(水)	大豊町総合ふれあいセンター	○	○	○		
2月21日(金)	高知市保健福祉センター	○	○	○		
2月26日(水)	南国市保健福祉センター	○	○	○		
2月28日(金)	高知市保健福祉センター	○	○	○		
3月7日(金)	〃	○	○	○	○	○
3月12日(水)	保健福祉センター香北	○	○	○		
3月13日(木)	野市ふれあいセンター	○	○	○		
3月14日(金)	高知市保健福祉センター	○	○	○		
3月18日(火)	土佐町保健福祉センター	○	○	○	○	○
3月20日(木)	野市ふれあいセンター	○	○	○		

12月9日(月)より、電話にて申し込みを受け付けます。

※各会場定員に達した時点で、申し込みを締め切りますのでご了承ください。

郵送による大腸がん検診を実施します

大腸がん検診は、便に潜む血液の有無を調べる検査ですが、その検査をより受けやすくするために、希望者到大腸がん検診の容器を送付し、便採取後に郵送で提出していただく方法による検診を高知県が試行的に実施します。

今年度まだ大腸がん検診を受けられない方はぜひお申し込みください。

対象となる方

高知県内に住所を有する40歳以上の方で、今年度大腸がん検診を受診していない方

自己負担額

無料

申し込み期間

12月16日(月)

～平成26年2月14日(金)

(定員に達した時点で、申し込みを締め切りますのでご了承ください)



申し込み先 高知県総合保健協会 ☎ 088-832-9691
受け付け時間 午前8時30分から午後5時まで(土日祝日は休み)

※通常の市町村検診と申し込み先が異なりますのでご注意ください

高齢者アンケートの調査結果

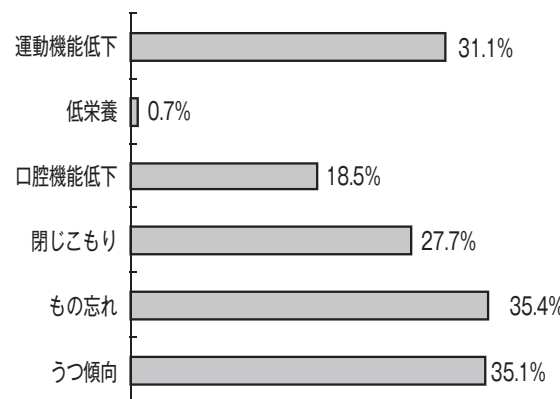
地域包括支援センターからのお知らせ



10月8日、ゆとりすと交流センターで行われた健康あっぷ教室の参加者の皆さん、撮影にご協力ありがとうございました！

高齢者アンケート 基本チェックリストから

基本チェックリストとは、厚生労働省が定めた介護予防のための全国共通の質問票です。
このチェックリストに基づき、6つの項目（機能）において介護予防の取り組みが必要かどうかの確認を行い、介護予防が必要な方を介護予防該当者としています。
各項目の介護予防該当者の割合は左のグラフのとおりとなっています。
※運動機能や口腔機能低下、低栄養について介護予防が必要な方には、介護予防教室（健康あっぷ教室）の案内を送付しています。

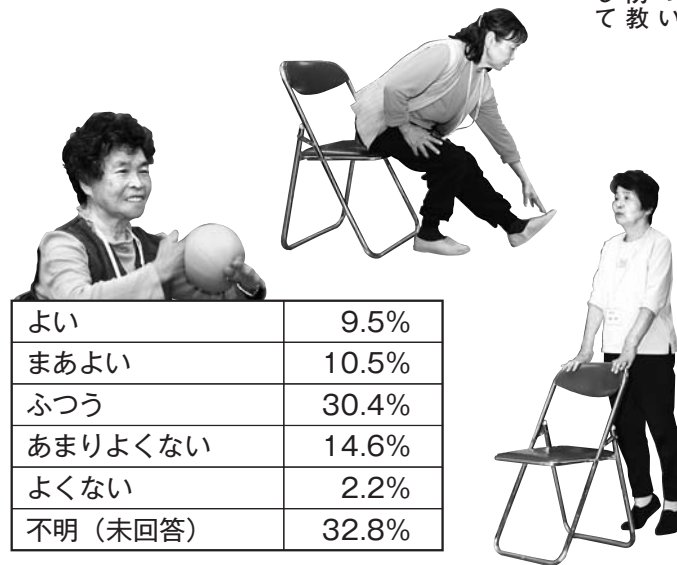


人との交流や集まりへの参加について

回答数の94.0%の人が何らかの形で人との交流があると回答しており、また、69.8%の人は何らかの集まりに参加していました。

健康観について

調査時の体調については、20%の人が「よい」「まあよい」と回答していました。



■加齢とともに介護が必要になっています

⇒早期から介護予防に取り組みましょう！

■運動したり集まりに参加することで、介護予防になります

⇒運動や出掛けることを心掛けましょう！



まちの できごと

●大豊町公式 facebook にも、町のできごとが掲載されていますので、ご覧ください。



暴風の中・・・～第7回全国水源の里シンポジウム～

9月26日、27日の2日間「第7回全国水源の里シンポジウム」がゆとりすとパークなどで開催されました。

このシンポジウムは、流域連携の必要性を全国にアピールするとともに、「水源の里」の活性化を図るために行われ、約400人の参加がありました。

「風と遊ぶ ゆとりすとパークおとよ」ですが、なんとこの日は遊べないぐらいの強風！そんな中でしたが、無事に流域間の交流、情報交換ができました。

来年は和歌山県田辺市で開催予定です。



ユメヲ未来へ ～第3回棚田のともしび 提灯つり～

9月28日、「岩原夢描田会」と高知大学の協働事業「第3回棚田のともしび提灯つり」のイベントが開催されました。今回は「ユメヲ未来へ」という文字が棚田に浮かび上がりました。

しばらくすると「もう少しで別の文字に変わります！」というアナウンスが。

浮かんできた文字は…

「ユメヲ未来へ」でした！少しだけクスッと、そして地域の皆さん、学生の皆さんの棚田再生への思いが伝わるイベントでした。



雨音とともに聴くジャズの調べ ～立川参勤交代道再生プロジェクト～

10月5日、「立川参勤交代道再生プロジェクト Swing SAM ライブコンサート in 立川御殿」が行われました。

立川地区では、これまで地区住民が中心となって参勤交代道の再生を行ってききましたが、住民の高齢化などにより十分な整備が難しくなってきました。

そこで、今年度から「結プロジェクト推進事業」として、企業、大学と連携し、清掃活動などの共同作業やイベントを行っており、今回のコンサートもその一つです。予定では外でのコンサートの予定でしたが、雨のため立川御殿の中で演奏！

国の重要文化財の中でのジャズやマリンバの演奏、なかなか貴重な体験でした。



大豊の地場産品が集合！ ～銀の市直販所～

毎週土曜日、東土居のお達者広場入口横で地場産品を売っている直販所があるということで、取材に行ってきました。

「お年寄りの方が、家の畑で作った野菜などを少しでも出す場所があれば作りがいもあるし、また生きがいにもなるのでは」との思いで作った直販所だそうです。野菜のほかにも、ちらし寿司やみょうが団子などの加工品もありました。

銀の市についての問い合わせ先

090-1571-7980 または 075-0043(上池)



役場からのお知らせ

電話 72-0450
役場 ふれあいセンター 73-0811
農業センター 73-0978

11月11日は「介護の日」
高齢者の介護を行っている方へ

「家族の会」を開催します

大豊町では約450人の方が介護認定を受けています。日ごろ、介護の悩みをお持ちのご家族もいらっしゃると思います。

そこで、同じ悩みを抱えた者同士、お茶を囲んで一息ついてみませんか。

【日時】11月13日(水)
午後1時30分～午後3時

【場所】大豊町総合ふれあいセンター
【参加料】無料

【申し込み】前日までに、電話でお申し込みください。

問い合わせ先…住民課地域包括支援センター



高齢者のインフルエンザ

予防接種が始まります

今年度も、一部公費負担によるインフルエンザ予防接種を次の内容で実施します。

【対象者】

大豊町民で、接種当日に①または②に該当する方

①65歳以上の方

②60～65歳未満の方で心臓、腎臓、呼吸器に重い病気のある方(身体障害者手帳1級相当の方)

【費用】自己負担金 1,000円

残りの接種費用は町が負担します。公費負担で接種



できるのは期間中1回だけです。

この制度の対象者で生活保護を受けている方は、免除証明書の交付を役場本庁または総合ふれあいセンターで受け医療機関に提出すると、自己負担金が無料になります。

【実施期間】

11月1日～12月末(医療機関の休診日を除く)

【接種可能な医療機関】県内委託医療機関

※町内では次の医療機関になります。

高橋医院

大田口医院

大杉中央病院

74-0514
73-0333
72-1003

【接種方法】

接種を受ける際には事前に医療機関へ予約をし、健康保険証を持参してください。

問い合わせ先…住民課健康づくり班

高齢者肺炎球菌ワクチン

大豊町では、今年5月から、70歳以上の町民の方に、「肺炎球菌ワクチン」接種の助成を行っています。この助成は町内医療機関で接種した場合のみ対象となります。

【助成対象者】70歳以上の大豊町民であり、十分な意思確認ができ、予防接種を希望する方

※助成回数は生涯1回のみ

【接種方法】接種を希望される方は、事前に役場が総合ふれあいセンターに申請し、助成券を受け取りま



てください。

また、ご本人の保険料だけでなく、配偶者やご家族の保険料を納付した場合も、その納付額の全額が納付した方の控除対象となりますので、このような場合は、確定申告の手続きの際にご自身の保険料の額と合算して申告できます(その際にはご家族分の証明書も一緒に添付する必要があります)。

税法上とても有利な国民年金は、老後はもちろん不慮の事故など万一のときにも心強い味方です。そのためにも保険料は納め忘れないようにきちんと納めましょう。

問い合わせ先…南国年金事務所

088-864-1111

11月は児童虐待防止推進月間です

児童虐待は、社会全体で解決すべき問題です。

身体的虐待

殴る、蹴る、投げ落とす、激しくゆさぶる、やけどを負わせる、溺れさせる など

性的虐待

子どもへの性的行為、性行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など

ネグレクト

家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病氣になっても病院に連れて行かない など

心理的虐待

言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(DV) など

虐待を受けたと思われる子どもがいたら…

ご自身が出産や子育てに悩んだら…

子育てに悩む親がいたら…

あなたの連絡相談が子どもを守るとともに、子育てに悩む保護者を支援するための大きな一歩となります。

連絡は匿名で行うことも可能です。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

児童相談所全国共通ダイヤル

0570-064-000

す。そして町内医療機関に予約をし、助成券、問診票、保険証を持参して接種を受けます。接種を受ける際には医療機関に1,000円をお支払いください。

問い合わせ先…住民課健康づくり班

献血の日程が変更になります

「大豊町健康づくりカレンダー」にあります

献血の日程が、次のとおり変更となります。

変更前 12月3日(火)

変更後 12月2日(月)

役場前 (午前9時45分～11時45分)

大杉中央病院前 (午後1時30分～3時30分)

献血は皆さんの善意によって支えられています。一人でも多くの方の献血へのご協力をお願いします。

問い合わせ先…住民課健康づくり班



戦没者等の妻の皆さんへ

特別給付金の継続支給開始のお知らせ

次の戦没者等の妻の方に特別給付金が継続支給されます。

【対象】第22回特別給付金「い号」の受給権を取得し、平成25年4月1日現在、公務扶助料や遺族年金などの給付を受けている戦没者等の妻

【請求期限】平成28年6月13日まで

※その他の支給要件、請求手続きなどについては、お問い合わせください。

問い合わせ先…住民課福祉班 原

または県庁地域福祉政策課

職場でのトラブル解決サポートします

人事労務管理の個別化や雇用形態の変化などに伴い、個々の労働者と事業主との間で、労働関係についての紛争が増加しています。高知労働局では、個別労

特選



「黒石・春」 竹内 敬訓



第4回 四国三郎吉野川源流・利水域交流美術展覧会開催！

日時 11月15日(金)～18日(月) 午前9時～午後6時

場所 大豊町農工センター



「祭りの漢」 岡崎 徹



「ファンタジー」 山崎俊幸



「冬の怪人」 横山 豊



最後の運動会、それぞれに： 地域の人たちと 仲間と 学舎と



大豊小学校

9月末、大豊町内の小学校・保育所との合同の運動会が行われ、大豊の青空に子どもたちの元気な声が響き渡りました。
子どもたちも地域の方も、皆さんいろいろな思いを持って参加した運動会でした。

「最後の運動会」

大豊町立大豊小学校六年 西村 奨

九月二十三日、ぼくたちの最後の運動会が始まりました。ぼくたちの学校は来年の三月で休校になるからです。

ぼくは赤組の団長です。今までの運動会で勝ったことがないので最後の運動会だし、団長としても勝ちたかったので全力を出して今年の運動会にいました。

今年で最後の運動会だし、大豊小学校としても最後なので、ぼくの家族は全員で見に来てくれました。

いよいよ運動会がはじまりました。

赤組は昨年優勝したので優勝旗はぼくが校長先生に返しました。その時ぼくは（かえしたくないなあ）とずっと思っていました。

（中略）
午前中の最後の競技は、豊永と岩原の伝統のおどりでした。ぼくは初めておどったけど伝統のおどりをすることができたいし、ふりつけがおぼえられたので良かったです。

それで午前の部が終わりました。ぼくは、点数を見てみると二十点ぐらいはなれて赤組が負けていました。ぼくは、（負けるかもしれない）と思いました。その後昼ご飯を食べました。お父さんがぼくに、「二十点差ぐらいで負けちゃうんですね。」

と言ったので「うん。」

と言いました。

「けど、まだ終わってないき。」とお父さんが言ってくれたのでぼくは、勇気づけられました。

それで、午後の部が始まりました。ぼくは最初きんちょうしていました。けど応援合戦をやっていたら楽しくなってきた。きんちょうがなくなりました。ぼくは（練習したときよりきれいにできたし楽しくできた）と思っていただけ、二対一で負けたので残念でした。

五・六年生の競技は二人三脚でした。ぼくはお父さんと出ました。最初の方は、速かったけどマストを回る時にスピードがおちておそくなりました。赤組は負けただけ

お父さんと二人三脚ができてよかったです。

次の競技は、大漁祭りでした。ぼくは、おばあちゃんと出ました。初めておばあちゃんと競技に出たけど楽しくできてよかったです。

いよいよ最後の競技で全校リレーでした。

練習の時負けていたので本番で勝ちたいと思っていただけ負けしてしまいました。けど一年から六年まで、みんな全力で走れてよかったです。

その後は閉会式をしました。

ぼくは閉会式が始まってから点数を発表するまでドキドキしてました。それで、放送の中平先生が

「得点発表。」

と言いました。まおくんが前に出て発表しました。

「赤、二百五点。白、百九十八点。赤の勝ち。」

と言いました。その時赤組は、みんなとびはねながら「イエーイ。」

と言っていました。ぼくもその時、大きい声で「イエーイ。」

と言いました。

ぼくは、ぼくにとって小学校生活最後の運動会と大豊小学校最後の運動会で、赤組団長として優勝できてよかったです。

ヘルスメイトの おしゃべりコーナー

■皆さん、仕事や作業の疲れは毎日取れていますか。疲れを翌日に

にためないように、十分な休養を取り、バランスの取れた食事を心掛けましょう。

■乳製品には、体を作る元になるたんぱく質や、カルシウムなどのミネラル類、ビタミン類も多く含まれています。毎日200g程度の乳製品を取りましょう。牛乳とインスタントコーヒーで、簡単に手作りできるデザートを紹介しますので作ってください。

◎コーヒー牛乳かんてん

材 料 （約6人分）

インスタントコーヒー	大さじ 1・1/3
水	200ml
牛乳	400ml
砂糖	40g
粉かんてん	4g
コーヒー味の チョコレート菓子	適量

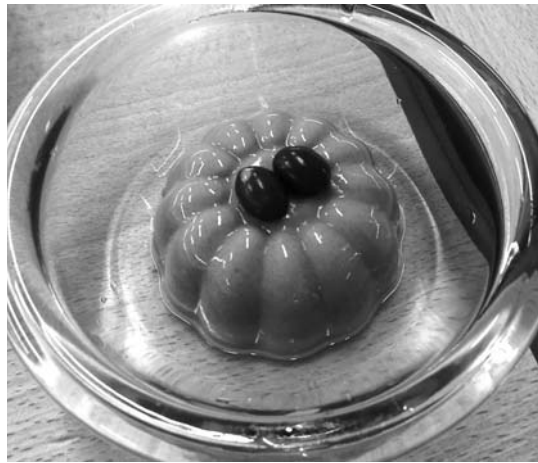
作り方

- ①鍋に粉かんてんと水、インスタントコーヒーを入れて火にかけ、かき混ぜながら煮る。
- ②沸騰したら火加減を調整し、表面がフツフツとする程度で3分程度煮る。
- ③砂糖を加えて火を止め、牛乳を少しずつ入れる。
- ④荒熱を取り、好みの型に流して冷やし固める。コーヒー味のチョコレート菓子を2粒程度添えて仕上げる。

1人分の 栄養価

エネルギー	74kcal	脂質	2.5g
たんぱく質	2.3g	鉄	0.1mg
カルシウム	83mg	塩分	0.1g

問い合わせ先 …大豊町食生活改善推進協議会(住民課健康づくり班内)



交通安全ニュース

交通安全運動にご協力 ありがとうございました

今年の安全運動期間中も皆さんのご協力により、本山署管内では交通事故の発生がありませんでした。



各種活動フォト



9/24(火)
交通安全グラウンドゴルフ大会

交通安全標語を
完成させると、
3打引けます

事故に遭わない
ように！



9/26(木)
夜間交通安全講習



9/30(月)
一万入訪問活動

本山署交通課アドバイザー 上池 ☎(0887)76-0110
香美署交通課アドバイザー 坂本 ☎(0887)52-0110

ピッカリ 運動 一口メモ

～常時ライト点灯運動実施中～

Q. 常時ライト点灯で、バッテリーの寿命が短くなるのでは？

すすんでライト点灯！



A. 常時バッテリー点灯により、極端にバッテリーの寿命が短くなることはありません。

香美署管内連絡便

今年に入って国道32号沿いで、前方不注意による追突事故や衝突事故等が4件発生しています。車を運転する時は運転に集中し、安全速度で、必ず安全確認をするように心掛けましょう。

これからの時季、日没前後1時間は特に見えにくく危険ですので、車を運転される方は、夕暮れ、夜間のお出掛けには早めのライト点灯を！

歩行者の方は、明るい服装や反射材の利用をお願いします。



お山のてっぺんで
おいしい!たのしい!に
出会おう!

10:00 ~ 15:00
ブルーベリーパフェ作り体験
10:00 ~ 16:00
どんぐりトトロ木工教室
スイーツマグネット作り教室
アニマルマグカップ作り教室
10:30 ~ 12:00
専門家に学ぶ勉強会

12:30 ~
引き肉コンテスト
12:45 ~ 14:45
シカバーガーづくりとシカ解体
ワークショップ
15:00 ~
餅投げ

イベント当日は
JR高知駅・大杉駅より
無料送迎バスあり!
(完全予約制)

四国の真ん中

高知県大豊町

ゆとりすとパークおおとよ



第2回 四国ジビエ グルメフェスタ

2013

平成25年 11月17日(日)

10:00~16:00 ※雨天の場合は24日(日)に順延

入国料 大人500円・中高生300円
小学生以下無料

ジビエ料理とは...

狩猟された鳥獣肉を使った、
ヨーロッパでは高級で特別な料理です。
四国の豊かな山で育った
栄養たっぷりの鹿や猪、鴨、キジを
味わってみませんか?

四国内の人気店

27店が大集合!!

四国の豊かな山の恵みを使った
こだわりのジビエ料理や商品を
ご提供します。

出店者

飲食ブース

- パッフォーネ ●ス・ルラクセ
- エンクエントロス ●陶美庵
- 北川村温泉 ゆずの宿
- マンジェササ ●土州焼き
- 燈の家 ●四季菜館
- 末広 ●ゆとりすとパークおおとよ
- 猪鹿工房おおとよ
- D'a Pan屋〜だっばんや
- 四万十市雇用創造促進協議会
- 土佐めぐりーど ●ドルチェガミ

高知

愛媛

徳島

香川

- ricarica ●ル ミストラル
- トランキーロカフェ

- 吉野川ハイウェイオアシス
- 月ヶ谷温泉 月の宿

- IRISH PUB THE CRAIG

物販ブース

- Dog's Life ●西熊石鮭
- 子子舎会(こだわり野菜販売)
- 碁石茶協同組合 ●大杉のどぶろく

※料理の写真はイメージです。
※ご飲食は別途料金が必要です。

特別プログラム

三嶺の森をまもる
みんなの会によるパネル展示

四国四県被害状況・取り組みのパネル展示

シカを活かす!
全国先進地の取り組み紹介



この体験学習は「こうち山の日」のイベントとして森林環境税を活用した事業です。

■主催: 南北ジビエ実行委員会 ■共催: 大豊町、西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社、三嶺の森をまもるみんなの会、■後援: 四国経済産業局、高知県、土佐南国市、町村教育委員会連合会、高知市教育委員会、大豊町森林組合、大豊町猟友会、道の駅大杉、高知新聞社、朝日新聞高知総局、読売新聞高知支局、産経新聞高知支局、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、高知ケーブルテレビ、エフエム高知 (予定)、毎日新聞高知支局 ■協力: 株式会社トレードマーク高知